

令和元年度 総会議案書

日時: 令和元年 6 月 15 日 (土) 午前 10 時から

場所: 福井市 旭公民館

〒910-0858 福井県福井市手寄 2 丁目 1-1

TEL 0776-20-5364 / FAX 0776-20-5364

北信越連絡協議会



特定非営利活動法人
日本防災士会

総会次第

開会宣言		福井県 支部
開会挨拶		石川県 支部長
来賓挨拶	本部	別府 茂 常任参与
議長選出		石川県 支部長
総会書記及び議事録証明人の選出		福井県 支部

議 事

第1号議案	平成30年度 活動報告	石川県支部
第2号議案	平成30年度 収支決算報告・監査報告	石川県支部
第3号議案	役員改選	石川県支部
第4号議案	令和元年度 活動計画（案）	福井県支部
第5号議案	令和元年度 会計収支予算（案）	福井県支部
第6号議案	その他	福井県支部

議長降壇 福井県支部

本部との懇談会 本部 別府 茂 常任参与

閉会挨拶 福井県支部

研修会 14:30～16:00

「原子力災害時の各対応について」

原子力災害時のリスクコミュニケーション手法講義と
パスウェイモデルを使っての実習

講師:NPO 法人ワネッツ

副理事長: 塚本 重信 氏

事務局長: 岩崎 良人 氏

第1号議案

平成30年度活動報告

- 1 平成30年度役員会・総会
 - ・日時 平成30年7月22日(日)午前
 - ・場所 金沢市松ヶ枝福祉館 4階「集会室」
 - ・出席者 16名

- 2 防災士スキルアップ研修会(1)
 - ・日時 場所は上記1に同じ(午後)
 - ・内容 本部松尾理事長講演、避難所運営ノートの指導・グループワーク
 - ・参加者 36名

- 3 立山カルデラ砂防体験学習会
 - ・日時 平成30年8月23日(木)
 - ・場所 立山カルデラ砂防博物館 等
 - ・参加者 20名

- 4 防災士スキルアップ研修会(2)
 - ・日時 平成30年10月21日(日)
 - ・場所 石川県野々市市富奥防災コミュニティーセンター
 - ・内容 気象防災情報の利活用、気象防災ワークショップ
 - ・参加者 61名

- 5 拡大役員会及び意見交換会
 - ・日時 平成30年12月8日(日)
 - ・場所 富山県総合福祉会館
 - ・内容 地区防災計画研修(講師 橋本茂日本防災士機構理事)

- 6 本部地区防災計画推進会議及び北信越役員意見交換会
 - ・日時 平成31年1月19日(土)
 - ・場所 東京・神田

- 7 防災士スキルアップ研修会(3)
 - ・日時 平成31年1月20日(日)
 - ・場所 金沢市松ヶ枝福祉館 4階「集会室」
 - ・内容 東日本大震災での教訓から得る今後の防災への取組み
(講師 火箱芳文氏)
エネルギー情勢について(経済産業省北陸支局)
 - ・参加者 67名

- 8 日本防災士会女性防災推進局委員会
 - ・日時 平成31年3月4日(月)
 - ・場所 東京・砂防会館会議室
 - ・出席者 大月真由美氏

第2号議案

平成30年度収支決算報告

収単位円

収入の部

摘要	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	186,192	186,192	0	
会費	40,000	40,000	0	@10,000/年×4支部
補助金	100,000	100,000	0	日本防災会本部
合計	326,192	326,192	0	

支出の部

摘要	予算額	決算額	増減	備考
役員会, 総会費用	50,000	34,000	-16,000	総会・役員会
研修・事業費	80,000	75,257	-4,743	開場費、謝金、お茶代
各県支部活動補助費	100,000	100,000	0	@20,000/年×4支部
予備費	96,192	492	-95,700	振込手数料
			-	
合計	326,192	209,749	-116,443	

収入合計 326,192

支出合計 209,749

次期繰越 116,443

平成30年度監査報告

- 実施日 令和元年6月15日（土）
- 場 所 福井市旭公民館 2F ホール
- 対象期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日
- 項 目 平成30年度収支内容
- 所 見 平成30年度収支決算書並びに会計に関する書類・帳簿・証拠書類について監査したところ、適正に執行されていることを認めましたので報告します。

令和元年6月15日

日本防災士会北信越連絡協議会

会長 **中野 忠史 殿**

日本防災士会北信越連絡協議会

監事 **立平 政勝** ㊞

監事 **成川 一正** ㊞

第3号議案

令和元年度

北信越連絡協議会役員名簿(案)

役職	支部	氏名
会長	福井県	黒川 勳
副会長	新潟県	西潟 清二
副会長	富山県	小杉 邦夫
副会長	石川県	中野 忠史
事務局長	福井県	片山 明則
事務局(理事)	福井県	新任 下畑 健二
事務局(理事)	福井県	立平 政勝
事務局(理事)	新潟県	成川 一正
事務局(理事)	富山県	佐伯 邦夫
事務局(理事)	石川県	中島 辰史
監事	富山県	新任 大坪 清治
監事	石川県	福谷 正信

(参考)平成30年度北信越連絡協議会役員

役職	支部	氏名
会長	石川県	土田 満
副会長	福井県	黒川 勳
副会長	新潟県	西潟 清二
副会長	富山県	小杉 邦夫
事務局長	石川県	福谷 正信
事務局(理事)	石川県	中野 忠史
事務局(理事)	石川県	中島 辰史
事務局(理事)	福井県	片山 明則
事務局(理事)	新潟県	尾身 誠司
事務局(理事)	富山県	佐伯 邦夫
監事	福井県	立平 政勝
監事	新潟県	成川 一正

第4号議案

令和元年度活動計画（案）

1. 令和元年度役員会・総会

- ・日時 令和元年6月15日(土)
- ・場所 福井市旭公民館にて実施

2. 令和元年度研修会

- ・日時 令和元年6月15日(土)
- ・場所 福井市旭公民館 1F ホールにて
- ・内容 「原子力災害時の各対応について」
原子力災害時のリスクコミュニケーション手法講義と
パスウェイモデルを使っての実習
講師:NPO 法人ワネッツ

副理事長: 塚本 重信 氏
事務局長: 岩崎 良人 氏

3. 女性による 地区防災計画の進め方（仮題）

4. スキルアップ研修 内容協議会にて協議

第5号議案

令和元年度会計収支予算（案）

収単位円

収入の部

摘要	前期予算額	当期予算額	増減	備考
繰越金	186,192	116,443	0	前期監事県より
会費	40,000	40,000		@10,000/年×4支部
研修参加費	0	50,000		@1,000円/名×50名×1回
補助金	100,000	100,000	-	日本防災士会本部
			-	
合計	326,192	306,443		

支出の部

摘要	前期予算額	当期予算額	増減	備考
役員会・総会費用	50,000	50,000	-	総会・役員会
研修・事業費	80,000	80,000	-	謝金・お茶代
各県支部活動補助費	100,000	80,000	-20,000	@20,000/年×4支部
予備費	96,192	96,443	251	
			-	
合計	326,192	306,443	-19,749	

議案第 6 号 その他

北信越連絡協議会「災害時の活動指針」

1. 目的

この指針は、北陸支部内での大規模災害の発生を想定し、団体である北陸支部連絡協議会及び個人としての会員が行う活動指針を定め、行政機関や他団体、ボランティア等との連携に務めると共に防災・減災活動に貢献することを目的とする。

2. 想定する災害

大規模地震災害(震度6強程度)または同程度の広域被害が予想される自然災害を考慮し、平時活動並びに発生時の活動の指針とするものとする。

3. 適用範囲

3-1 北陸支部連絡協議会(以下 北陸支部という)

3-2 日本防災士会本部(以下 事務局を含む)

4. 活動内容

(1) 平時の活動

各支部及び会員の平常時の活動は、その支部の活動計画に基づいて行動するものとする。

(2) 災害発生時の活動

1) 被災地支部の活動

県内(支部)単位で災害時相互応援計画、県や市町村との応援計画及び避難所の運営等の計画が策定されている場合は、これを尊重する。

2) 連絡網により北陸支部、事務局へ情報を速やかに提供する。

3) 被災地外会員の活動

① 事務局及び被災地支部からの協力要請があれば、可能な範囲で協力する。

② 被災者支援ボランティアについては北陸支部及び事務局からの要請がない限り個人資格で参加する。

5. 記録・広報等

防災活動記録を作成し、事務局に対して、その内容を報告・連絡し、地元マコミ及び自治体広報誌に積極的に広報する。

6. 活動報告会の開催

災害を経験した会員及び支部は、事務局等が企画・開催する「防災活動報告会」または「防災活動研究会」等を通じて報告すると共に会員はこれを受講して、防災士の防災能力の向上及びより良い防災活動に役立てる。

7. 本制度は平成 30 年 7 月 22 日より運用する

【参考】被災地支援活動について(平成 28 年度日本防災士会第 3 回理事会確認事項)

今後起こりうる災害に向けて、以下のような取り組みが必要と考えられます。

- ① 大規模災害が発生した支部は、会員及び被災地の情報収集に努め、支部連絡協議会、本部に連絡する。
- ② 支部連絡協議会は本部と連携し、被災地支部への緊急支援並びに支援活動を計画する。
- ③ 本部は、被災地支部、支部連絡協議会と連携して情報を集約し、全国各支部、会員に情報を提供する。
- ④ 本部は必要に応じて日本防災士機構と連携し、効果的な支援を検討する。
- ⑤ 理事長は必要かつ可能と判断したときは日本防災士会として組織的な支援活動の実施を決定する。
- ⑥ 組織的な支援活動を実施する場合は、HP、メール、郵便等の手段により会員の参加を呼び掛ける。

※現地防災士会の救援本部を立ち上げる場合は、社会福祉協議会との協議、連携を密にすることが重要である。

包括的連携協定にかかわる協定書

「日本防災士会会員の活動理念」を具現化、地域社会貢献をさらけ鮮明にし、会員並びに北信越各支部の活動強化を図ります。

一、力を合わせ多彩な地域社会貢献活動

一、災害が発生した場合行政や地域要請に基づき活動し、情報の提供(共有)

一、被災者のニーズに添える質の高い知識、技能の習得

一、各支部の中核会員を目指す研修会を開催

一、その他支部相互に連携協力を行うことが必要と認める事項を遂行

平成 25 年 11 月 16 日

日本防災士会北信越連絡協議会

石川県支部長	土田 満
福井県支部長	黒川 勲
富山県支部長	小杉 邦夫
新潟県支部長	別府 茂

特定非営利法人日本防災士会北信越連絡協議会会則

第1章 総 則

第1条 (名称)

本会は特定非営利法人日本防災士会北信越連絡協議会とする。

第2条 (構成)

本会は特定非営利活動法人日本防災士会定款 38 条及び同支部規定第6条に基づく同会の支部(福井県支部・石川県支部・富山県支部・新潟県支部・長野県支部)の支部相互間の連携組織とする。

第3条 (目的)

本会は「自助」「共助」の原則のもと、構成支部間のネットワークを構築し、地域防災に資する活動と活動に必要なスキルアップ向上を支援することを目的とする。

第4条 (事務所)

本会の事務所を会長の所属する県に事務所を置く。

第2章 事 業

第5条 (事業)

本会は前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) NPO 法人日本防災士会の活動方針に基づく活動
- (2) 支部活動に資する活動
- (3) 防災・減災技能の研鑽に関する活動
- (4) 会員相互の連携・交流に資する活動
- (5) 研修会・研究会の開催
- (6) 災害時の相互支援に関する活動
- (7) その他本会の目的を達成するために必要な活動

第6条 第 6 条(年度)

本会の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日をもって終了する。

第3章 会 員

第7条 (会員)

本会の会員は、各県支部で構成する。

第4章 役 員

第8条 (役員)

本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1 名、副会長 3 名、事務局長 1 名、会計 1 名、事務局若干名、監事 2 名
- (2) 役員は総会で選出する。
- (3) 役員の任期は 1 年とする。ただし、欠員が生じた場合は後任を選出し、任期は前任者の在任期間とする。
- (4) 会長、副会長は各県支部長が役職に就く。また、会長職は互選により選出する。

第9条 (職務)

- (1) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 会計は経理を統括する。
- (4) 事務局は本会の会務を執行する。
- (5) 監査は本会の会務・会計を監査する。

第5章 会 議

第10条（会議）

本会の会議は総会、役員会とし、会長が招集して議長を務める。

第11条（総会）

総会は各県支部の代議員 5 名で構成し、代議員は各県支部の支部長、副支部長、事務局長を含む5名とする。

総会は年 1 回開催し、次の事項を議決する。

- (1) 会則の改正等
- (2) 予算・決算に関する事項
- (3) 年度事業及び事業方針に関する事項
- (4) その他必要事項

2 会長が必要と認めたときは、臨時に総会を開催することが出来る。

第12条（役員会）

役員会は年 1 回開催し、次の事項を議決する。

- (1) 総会に提出すべき議案
- (2) 総会から委任された事項
- (3) その他会務執行上必要な事項

2 会長が必要と認めたときは、臨時に役員会を開催することが出来る。

第13条（議決）

総会の議決権は各県支部の代議員が有する。

- 2 総会は代議員の過半数をもって成立する。
- 3 総会の議決は出席者の過半数をもって決する。可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- 4 役員会の議決は出席役員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。

第6章 会 計

第14条（会計）

本会の経費は、構成する県支部からの会費及び寄付金をもってこれにあてる。

- 2 会費の額については別に定める。
- 3 本会の会計年度は事業年度と同じとする。

【附則】

制定	平成 25 年 11 月 16 日
施行	平成 26 年 4 月 1 日
改定	平成 27 年 7 月 4 日
	第 2 条 変更
	第 4 条 事務所の変更
改定	平成 30 年 7 月 22 日
	第 1 条 変更
	第 8 条 事務局長を追加
	第 11 条 代議員の規定

【別に定める会費の額】

日本防災士会北信越連絡協議会運営資金の拠出
各県支部においては年間 10,000 円を拠出するものとする。

令和元年度北信越連絡協議会役員名簿

取扱注意

役職	支部	氏名	郵便番号	住所	自宅電話	携帯電話	FAX	携帯メールアドレス	PC アドレス
会長	福井	黒川 勳	910-3133	福井市石新保町 19-10	0776-85-1500	090-4682-3625		ik.natsume1953@docomo.ne.jp	Cf5yb4@bma.biglobe.ne.jp
副会長	新潟	西潟 清二	951-8068	新潟市中央区上大川通 7-1166 502号	025-210-7785	090-2487-2332	025-285-3531 事務局エヌシーイ	seikei-56.42@docomo.ne.jp	bousaisikai-niigata@nceinc.co.jp
副会長	富山	小杉 邦夫	930-0138	富山市呉羽町 6927-54	076-434-1918	090-6819-5858	076-434-1918	kkhouse920@docomo.ne.jp	kosugi@nsknet.ne.jp
副会長	石川	中野 忠史	921-8044	金沢市米泉町 8-7	076-241-9184	090-8500-3452	076-241-9184	tadafumi-0205@softbank.ne.jp	Tadafumi_0205@beetle.ocn.ne.jp
事務局長	福井	片山 明則	916-8507	鯖江市下司町福井高専内	0778-47-2922	090-2379-7393	0778-47-2923	imonosi8588@docomo.ne.jp	bousaisi@fukui-nct.ac.jp
事務局(理事)	福井	下畑 健二	918-8104	福井市板垣 3-145	0776-36-7022	090-1313-3740		kenji.1958.simobata@softbank.ne.jp	
事務局(理事)	福井	立平 政勝	911-0053	勝山市北郷町森川 15-11	0779-89-1071	090-7087-6749			jh9afj@crux.ocn.ne.jp
事務局(理事)	新潟	成川 一正	950-2075	新潟市西区松海が丘 2-21-4	025-233-2052	090-2165-0200	025-285-3531 事務局エヌシーイ	narukawa.kz@gmail.com	K-Narukawa@nceinc.co.jp
事務局(理事)	富山	佐伯 邦夫	939-8192	富山市布市新町 293	076-422-2507	090-9762-8267	076-422-2507	kearth1953@ezweb.ne.jp	jnkr491@ybb.ne.jp
事務局(理事)	石川	中島 辰史	924-0016	白山市宮永市町 22-1	076-274-2381	090-2127-1892		nnn.1313-tatu@docomo.ne.jp	nyaya31@yahoo.co.jp
監事	富山	大坪 清治	939-0413	射水市串田 5448	0766-54-1539	090-2123-3439			s-ootubo@po7.canet.ne.jp
監事	石川	福谷 正信	921-8164	金沢市久安 3-171	076-243-9244	090-2123-3300	076-243-9244	masanobu24314.-0-0@docomo.ne.jp	sp4t33n9@friend.ocn.ne.jp

令和元年 6月 8日

日本防災士会北信越連絡協議会
2018年度（平成30年度）総会・役員会議事録

◆ 開催概要

日 時： 2018年7月22日（日） 10時00分～11時20分

場 所： 金沢市松ヶ枝福祉館 4階「集会室」

出席者： （来賓） 日本防災士会 松尾好将理事長

（役員） 福井県支部、石川県支部、富山県支部、新潟県支部

（他オブザーバー 1名）

◆ 議事録

司会者 福谷正信（石川県支部事務局長）による出席者の紹介の後、議事を進行。

1 開会宣言

開催県・福谷事務局長より今日のスケジュールの説明および配布資料の確認の後、開会を宣言した。

2 前年度会長挨拶

富山県支部 小杉支部長より挨拶

3 来賓挨拶

日本防災士会 松尾理事長による来賓挨拶

（挨拶概要）

重要取組の「地区防災計画の推進」も4年目

キャンペーンの実施 等

4 議長選出

慣例により前年度会長の小杉富山県支部長が就任。

議事録署名人は、石川県支部に一任。

5 議事概要

（1） 第1号議案（29年度活動報告）が富山県・佐伯事務局長より報告、承認された。

（2） 第2号議案（29年度収支決算報告）が富山県・佐伯事務局長より報告された。

監査は石川県・中野監事より報告され、2号議案は承認された。

（3） 第3号議案（会則改定）が富山県・佐伯事務局長より説明、承認された。

（4） 第4号議案（災害時の活動指針）が富山県・佐伯事務局長より説明、承認された。

- (5) 第5号議案（役員改選）が議案どおり承認され、これ以降、議長職を石川県・土田支部長に交代し、審議を進めた。
- (6) 第6号議案（30年度活動計画）が石川県・福谷事務局長より提案、承認された。
- (7) 第7号議案（30年度予算）が石川県・福谷事務局長より提案、承認された。

※「予備費」について、次のような意見があり、次年度以降の検討課題とされた。

- ・災害対策等臨時の場合に備えてある程度フルすべき
- ・災害等の対応は新たに積立(特別会計)し、会員のスキルアップ等に活用すべき

6 確認事項および申し合わせ事項

前年度に出された事項について次のとおり整理・確認した。

- ・幹事県が変わることによる会計通帳の取扱いの煩雑さを29年度中にはクリアできるよう検討する。 → 提案どおり解決済み
- ・北信越連絡協議会の幹事県は1年交代であるのに対し、日本防災士会理事は任期2年（北信越ブロックから2名選出）であり、その関連性、たとえば、幹事県の任期を2年にするなどの検討を進める。 → 現状どおり1年とする
- ・九州支部連絡協議会での取組みのように、北信越連絡協議会でも災害が発生したときに協力しあえる相互災害支援体制を作る。 → 継続して進める
- ・長野県が北信越連絡協議会に加入しないことになった。北信越連絡協議会の名称を「北陸連絡協議会」とする方向で、規約等の改正案を提示できるよう準備を進める。
→ 名称は現状のままとし、当面は長野県の動向をみる

7 閉会宣言

30年度北信越連絡協議会 土田会長が総会終了を宣言し、総会は閉会した。

議事録署名人

中野 忠史 ㊟

前 千代子 ㊟